日刊産業新聞　2006年8月1日（火）

新社長 Latest New President

電子部品向け微粉に期待

日本アトマイズ加工 福井 秀明氏

「電子部品向けの微粉はまだ大きく伸ばす余地がある」。日本精鉱グループの金属粉末メーカー、日本アトマイズ加工の社長に就任して約2カ月が経過、業績拡大の原動力になって世界で初めて粒径1μの銅と銀の微粉を開発したのが2002年。その後4年間、「微粉はかなりの勢いで伸びてきた」。06年度も需要の拡大傾向は続き、生産量は昨年の400トンから約500トンに増える計画だ。

水アトマイズ法とした積層セラミックコンデンサー（MLCC）の導電ペースト向け微粉に期待を込める。

一方で生産量が多い軸受け用の金属粉末は成熟している。「加工費や利益率は徐々に少なくなっている」ため、電子部品向けの微粉に注力する方針だ。

銅微粉は現在、MLCCの外部電極に使われている。ただ内部電極にはニッケルが使われているため、内部電極向けの銅微粉を研究開発している。銀微粉もMLCC用途だが、市場が急拡大しているプラズマディスプレー（PDP）への参入をめざす。

新たな市場開拓のために提案型営業も強化している。その第一弾製品として世界で初めて水アトマイズ法による白金の微粉末を開発。現在は自動車のガスセンサー向けにサンプル出荷を行っている。

今後の事業展開について「やはり技術開発が中心」と話す。そのために7月1日に技術開発室を新設し、「ここに精鋭を集めて当社の頭脳にする」。当初は5－6人の規模で研究を進め次世代製品を開発する。

親会社である日本精鉱との連携強化も図る。年内取得をめざしているISO14000では「本社に参考意見を聞くなどしてシナジー効果を出している」ため、新製品開発でも「共同でできるアイテムを提案していく」。（増田　正則）

▽福井秀明（ふくい・ひであき）氏＝1970年阪大工卒、双日（旧日商岩井）入社。00年アルコニックス（旧日商岩井アルコニックス）取締役新素材電子材料事業部長。02年インコ東京ニッケル入社、05年同社ニッケル営業第一部長。06年日本精鉱入社。趣味はゴルフ。47年2月7日生まれ、香川県出身。